

ゆざわまち議会だより



臨時号

令和元年
6月9日発行

平成31年4月21日施行の湯沢町議会議員選挙は、立候補の届出が議員定数と同数の12名であったため無投票となりました。新たな議会議員の任期は平成31年4月30日から4年間です。



5月14日に初議会となる臨時会が開催され、議長と副議長の選挙をはじめ、4つの常任委員会と議会運営委員会の委員の選任を行い、新たな議会構成が決定しました。また、議会選出の各種委員等の人事案件も決まりました。

今回の選挙は無投票であったため、選挙公報や街頭演説など、立候補者について町民の皆様を知っていただく機会がありませんでした。そこで、議会だより臨時号を発行し、それぞれの議員の思いや政策等をご紹介します。



議長 南雲 正

先般の湯沢町議会議員選挙は無投票ながらも3人の新人議員が加わり、新たな湯沢町議会がスタートすることができました。今、議会には、町民の皆様、特に若い世代に関心を持ってもらうような活動、仕組みづくりが必要であると考えております。

議会の基本ルールを定めた「湯沢町議会基本条例」と議員の行動基準を定めた「湯沢町議会議員倫理条例」には、その仕組みや手法が定められていますので、今までの4年間の活動を反省し、検証したうえで新たな取り組みの先導役を務めさせていただきます。

皆様方からご支援、ご協力をいただき、開かれた信頼される湯沢町議会を皆様とともに作ってまいりたいと思いますので、よろしくお願い申し上げます。



副議長 白井孝雄

この度、副議長に就任させていただきました。責任の重さをひしひしと感じ、身の引き締まる思いであります。しっかりと議長と意思疎通をはかり、議長の補佐をしていきたいと考えています。結果、湯沢町議会が町民より

信頼される議会となれば幸いです。また、執行部ともしっかりと意思疎通をはかり、湯沢町の発展に少しでも寄与できればとも思っております。これからも、皆様方のご指導・ご鞭撻を宜しくお願い致します。

各議員の所属委員会

| 議席番号 | 議員名 | 総務文教 常任委員会 | 生活福祉 常任委員会 | 産業建設 常任委員会 | 議会広報 常任委員会 | 議会運営 委員会 | 正副議長 |
|------|-------|---------------|---------------|---------------|---------------|-------------|------|
| 1 | 渡辺千恵 | 委員 | 副委員長 | | 委員 | | |
| 2 | 和田一郎 | 委員 | | 委員 | 委員 | 副委員長 | |
| 3 | 南雲好幸 | 副委員長 | | 委員 | 委員長 | | |
| 4 | 並木利彦 | | 委員 | 副委員長 | 副委員長 | | |
| 5 | 高橋政喜 | | 委員長 | 委員 | 委員 | 委員 | |
| 6 | 岸野雅人 | 委員長 | 委員 | | 委員 | 委員 | |
| 7 | 関忠夫 | | 委員 | 委員 | | 委員長 | |
| 8 | 宮田真理子 | 委員 | 委員 | | | | |
| 9 | 田村計久 | | 委員 | 委員長 | | 委員 | |
| 10 | 佐藤守正 | 委員 | 委員 | | | 委員 | |
| 11 | 白井孝雄 | 委員 | | 委員 | | | 副議長 |
| 12 | 南雲正 | | | | | | 議長 |
| 計 | | 7名 | 8名 | 7名 | 6名 | 6名 | |

*議長は、議会を統理し公正な議会運営にあたる立場であるため、委員会には所属していません。



3 南雲 好幸 (58)

原新田
議会広報常任委員長
総務文教常任副委員長
産業建設常任委員

子育てしたい、住み良い、訪れたい日本一の町

私は、23年間学習塾で湯沢の子供達と学び合ってきました。親御さんと一緒に一生懸命育てた子供達の多くは都会に出て行きます。何かおかしい。私には夢があります。湯沢町がホームステイの先進地になることです。日本中から世界中から湯沢に学びに来るといって「教育とホスピタリティが高い町」になり、「子育てしたい町・住み良い町・訪れたい町・日本一の町」になることです。

ホームステイし学び、卒業した人たちが第二の故郷として、再び観光のリピーターになって帰ってくるという循環を実現し、教育産業が国内第4位の産業に発展したニュージブラルダの成功事例もあります。関東圏からの交通の便が良くインフラも整備された湯沢町は最も可能性があります。



1 渡辺 千恵 (52)

上 中
生活福祉常任副委員長
総務文教常任委員
議会広報常任委員

若い人達へ続く道を

私は3つのチャレンジを目標にこの議会を目指しました。

①議会の活性化と若い世代が参加できる環境作り
様々な職種の方や女性が参加できるような環境を作るため改革していきたい。

②子育て支援、若者定住の応援
共働きする人達が安心して働ける環境を作り、進学するためにかかる教育費に対し、町としてもっと出来ることはないか考えていきたい。

③高齢者の手助け
介護問題、雪の問題など誰もが抱える問題を様々な面から支え考えていきたい。

そして何より町民の一人として声を上げ、皆さんの声を私の声として届けることを第一に頑張っていきたい。是非気軽に声をかけてください。



4 並木 利彦 (56)

中 子
産業建設常任副委員長
議会広報常任副委員長
生活福祉常任委員
議選監査委員

1期4年の重点課題

若い世代への政策は、インターネット上で、取り上げていきたい。例えば「子育て、教育問題」「若い世代の職場の確保」「適正な賃金の確保」。

重点課題として

【行政改革】「町民の意見を反映させるシステムづくり」「事業の長中短期の計画化」「オープンな事業計画」

【高齢者福祉対策】「交通手段の確保」「コミュニケーション対策」

【障がい者対策】「親亡き後の生活確保」「グループホーム設置」「雇用対策」「マッチング制度確立」

【観光対策】「観光の掘り起こし」「観光ビジョンの確定」「夏場の観光対策」



2 和田 一郎 (54)

三俣2
議会運営副委員長
総務文教常任委員
産業建設常任委員
議会広報常任委員

町民と行政の架け橋になります

はじめに、この度は多くの皆様よりご支援とご協力を賜りましたことに、この場を借りて改めて御礼申し上げます。当初より申し上げてきましたとおり、私は地方議員の果たすべき役割の一つは「住民と行政の架け橋」であることと考えます。町民を代表する議決機関である町議会の一員として、広く町民の声を聴き、そのニーズが町政の運営に反映されるよう活動してまいります。また、これまで観光協会の役員として積んできた経験などを最大限に活かし、観光分野をはじめ地域経済の活性化について取り組んでいきたいと考えております。

至らぬ点もあろうかと思いますが、これから議員として全力で働いてまいりますので、今後とも何卒ご支援ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。



7 関 忠夫 (72)

三俣 1
 議会運営委員長
 生活福祉常任委員
 産業建設常任委員

町民の声を行政に

1、観光立町の取組
 夏期観光の強化、豊かな湯沢の自然を活用して、森林浴、清流を楽しめる場所、バードウォッチング、美しい星空が見える所など調査してお客様に案内できるようにする。また集落にある史跡、文化財、伝統行事などを紹介して湯沢の魅力を活かした観光の強化を訴えていきます。

2、移住定住者の増加対策
 若い人が定住するにはどんな対策をしていかなければならないか行政に提案していきます。

3、議会、議員立候補者のなりて不足の解消に取組む事に努力します。

4、高齢者が住みやすい町にしていくなにはどんな事をして行かなければならないか考え行政に訴えていきます。

5、皆様の声をお聞かせください。



5 高橋 政喜 (75)

下熊野
 生活福祉常任委員長
 産業建設常任委員
 議会広報常任委員
 議会運営委員

町民との約束

4年前、立候補にあたり皆様の前で約束した公約を、一つ一つ実行してまいりました。①医療、介護、福祉の問題にしっかりと取り組む。②観光をはじめとする産業政策。③安全、安心なまちづくり。④歴史、文化の継承でした。4年が過ぎ、振り返ってみますと、やり残した事がありますので新たな気持ちで、4年前の約束を継続し全力で取り組んでまいります。特に今回取り組むものは高齢者福祉の問題であります。間もなく湯沢町も二人に一人が高齢者と言われる時がきます。このことに取り組むことで、「湯沢で生活していて本当に良かった」と言われる町にしていきたい。福祉には財源が必要です。歴史、文化を活用した観光産業に取り組んでまいります。



8 宮田 真理子 (60)

一之町
 総務文教常任委員
 生活福祉常任委員

よりよい心、優つた町づくり

平成21年の補選から議員になり10年を迎えました。女性議員3代目になります。また、新たにもう一人女性議員が増えた事は私にとっても大きな喜びでございます。町も議会も高齢化が進む中、女性や若者、よそ者といわれる湯沢町への転入者の参画は町・議会の活性化につながるものです。そういった方の参画できる道を模索していきたいと思っております。

私は一貫して福祉関連の委員会に所属して、高齢者見守り事業の見直しや、子育て支援の充実等に取組んでまいりました。女性・町民の目線を大切に、皆様のお声とお気持ちに寄り添うことができるよう努めます。持ち前の弱者に寄り添う心と正義感で、流されることなく是非々々で頑張ります。



6 岸野 雅人 (59)

楽 町
 総務文教常任委員長
 生活福祉常任委員
 議会広報常任委員
 議会運営委員

湯沢町をもっと素敵に

2017年からYour Smile, My Happiness. (あなたの笑顔が私の幸せです)を掲げてきました。何かを提供された方の感動が、提供した側の喜び。これは「ホスピタリティ」の考え方で、サービス業はもちろん、すべての仕事に通ずるものと思います。議会や行政の仕事も例外ではありません。

互いに「ありがとう」を言い合える「希望あふれる明るい町」を目指して、今後も町民と行政の間において、未来を見すえた政策・生活に密着した制度や条例を提案してまいります。まずは、よくお話しをうかがい、しっかりと調査し考えます。

より良い湯沢町を子ども達につなげるからこそ、使命です。四年間、よろしくお願ひします。

9 田村 計久 (70)



布 場
産業建設常任委員長
生活福祉常任委員
議会運営委員

あなたが主人公 明日の湯沢のために

○資源をいかし四季型観光の街づくりの推進、観光体制の見直しを提言します。
○駅東口周辺と湯小跡地周辺の再開発、土樽地区の今後に取り組みます。
○公共施設の維持、運営を検証、新たな仕組みを提案していきます。
○子育て世帯支援と保育・放課後児童クラブの充実に努めます。
○高齢者憩いの場設置と町内循環バスの実現に努力します。
人口減少と少子高齢化、衰退する町の経済、厳しくなる町の財政、バブル期に造られた公共施設の維持管理などこれらの問題は小手先だけの議論では町の課題は解決しません、これまでの政策を検証し、新たな街づくりを提言、取り組みます。

11 白井 孝雄 (71)



平 沢
副議長
総務文教常任委員
産業建設常任委員

2020のスキワールドカップを成功させよう

2期8年の経験を活かし、人とのふれあいを大切に、笑顔あふれる町づくりに尽力したいと考えています。そして次の事に全力で取り組みたいと思っています。
・子供・若者に夢のある町づくり
・災害に強い町づくり
・観光・農業のさらなる振興
・鳥獣被害の防止
特に、来年2月に開催されるFISアルペンスキワールドカップにいがた湯沢苗場大会が生まれていきます。今回も大成功の内に大会が終わられるように、微力ながら力を注ぎたいと思っています。この大会に刺激を受けた湯沢学園の子供達が、スキーに限らずいろんな面で全国を、いや世界を目指して挑戦しようとする姿が見られたら、大変うれしかいかりです。

10 佐藤 守正 (81)



駅通り
総務文教常任委員
生活福祉常任委員
議会運営委員

町政の目的は住民の難儀の軽減

国民健康保険税の引き下げ（子どもの均等割の削減）、学校給食費の負担軽減（第2子以降の給食費の無料化）、介護施設の充実など、要求は切実です。
町長は町予算には限りがあるからと難色を示しますが、困難を抱えている住民のために税を充てることは、町行政本来の役割です。県下第三位の財政力を誇る湯沢町です。町長の姿勢一つで出来ることは沢山あります。
住民の願いを声にして町に要求していく、その先頭に立ちます。
原発再稼働反対、消費税アップ反対、憲法9条改定反対の世論を盛り上げるため、一緒に声を上げましょう。
町政報告「新ゆざわ」を引き続き発行していきます。

12 南雲 正 (72)



滝之又
議長

湯沢で生まれ、育ち、生活する人たちが
幸福感を共有できる町づくりを目指し、
「おくせず、ひるまず、屈せず」挑戦を続けます。

- 【ストップ人口減】
・地方創生総合戦略による人口減少対策
・若者が定住、生活できる働く場の確保
・働きながら子育てできる環境整備
- 【地域経済の活性化】
・歴史文化、自然環境等の地域資源を活かした観光振興
・雪国湯沢の特性を生かしたスキー観光の振興
- 【教育文化の振興】
・英語教育の充実と国際交流の推進
・子供たちの学力向上とスポーツ、文化活動の支援
・童画のまちづくりの推進
- 【高齢者が安心して生活できる環境整備】
・高齢者の交通手段の確保
・暮らしを守る集落支援制度の創設
- 【地域間交流の促進】
・マンション住民と地域間交流の促進